

消防団の大災害時の対応について

大和郡山市消防団

(1) 災害への普段からの備えは？

- ⇒○通信手段の複数確保（無線、LINE等）
- 食料、燃料の確保（ポンプ車の燃料はいつも満タンに）
- 詰所周辺にスペース確保（消防分団は地域防災の拠点）
- 地元自治会、自主防災組織との顔の見える関係づくり
- 災害時における地域・現場に合った対応

(2) 災害発生後には？

- 消防団員本人及び家族の安否確認
- ⇒まず足元から固めていきます。

(3) 詰所に向かう途中には？

- 分団管区内で何が起きているのかを把握伝達
- ⇒管区内の救護活動、被害状況の確認
- 分団長報告
- 災害対策本部へ情報伝達

(4) 詰所に集合後には？

- 分団内で役割を決めて行動
- ⇒○住民の救護
- 消火活動
- 防犯等の警戒（空き巣は2日目から）
- 通行止（立入禁止その他危険区域）
- 広報活動、情報収集 等々
- ※避難誘導、避難所運営→自治会、自主防災組織に任せる

(5) 消防団全体の活動状況は？

- 複数の通信ツールを用いて、近隣分団や消防団全体の活動状況を把握
- ⇒○消防団全体の活動方針を把握
- 他分団の動きを自らの活動の参考とする
- 必要があれば救援の向かう